NEW

アストロ・インフォメイション



☆☆ 8月例会&火星観望会記念

**

最 影: 山本幸司 (大分県大分市) 撮影日時 2018年08月01日 21h00m(JST)



大分天文協会

Astronomical Society of Oita

 $_{\text{August}}\,8_{\ 2018}$

		1148	20	10		
B	月	火	水 1	* 2	章 3	± 4
5 •	6	7	8	9	10	11
12	13 ¥ 10:00 ペルセウス座流星群極大	14	15	16	17	18 •
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31 1日・・・やぎ座α流動	星群
			0	8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月	4日・・・みずがめ座。 10日・・・エリダヌス 12 (8) 日・・・みず 13 (12) 日・・・ペル 15日・・・8月りゅうほ 17日・・・みずへび座	: 流星群南群 座 n 流星群 かめ座 8 北流星群 かめ座 8 北流星群 とセウス座流星群 (超おすすめ) 空流星群 β 流星群 だちょう座 κ 流星群 (おすすめ) 間流星群 たがめ座 ι 北流星群
September 9 2018						
日	月	火	水	木	金	± 1
2 金星とスピカの接近 17:55 1°26′	3	4	5	を 水星とレグルスの接近 7:46 1°03′	7	8 13:32 海王星が衝
9 月と水星の接近 7:16 0° 56′ (10	11	12	13	14	15
	ヤコビニ・チンナー彗星	18	19	20	21 21:43 金星が最大光度	22
23	24	25	26	27	-4.6頭 28	29
30	中秋の名月			9月 9月 9月 9月	1日・・・ぎょしゃ座派 11日・・・エリダヌス 12日・・・おひつじ座 13 (8) 日・・・9月2 20日・・・うお座流座	座ν流星群 ・さんかく座流星群 パルセウス座ε流星群 群

9月12日・・・おひつじ座・さんかく座流星群
9月13 (8) 日・・・9月ベルセウス座 ε 流星群
9月20日・・・うお座流星群
9月20日・・・みずがめ座 κ 流星群
9月24日・・・しし座 κ 昼間流星群
9月29日・・・ろくぶんぎ座昼間流星群

アストロインフォメイション Vol.100 (Aug 2018)

表紙コメント

2018/08/01 8月例会&火星観望会の記念写真 山本幸司

コンパル屋上ミタカ30cmで観望した後 ドーム前で大接近翌日の大きな火星さんと記念写真! (渕さんは先に帰宅したので写ってません・すんません)

~~目次~~

例会 O1 例会報告

会誌 04 アストロインフォメイションバックナンバーのご案内

04 会誌発送

04 97号 星ナビ8月号に掲載されました

04 97号 天ガ8月号にも掲載されました

05 「関東天文協会天文台通信148号」受領いたしました

観測ガイド O5 ジャコビニ・チンナー彗星と星雲星団の記念写真

05 観測地朗報

協会ニュース O6 内那さん273~276個目の彗星発見

観望会 07 2018.07.21 久住高原・星空の巡り

08 第二回・四季の星空観測

個人観測 09 豪雨災害避難所での観望会

09 南天ぎりぎり天体観測 ピーコック編

10 清和高原天文台トライアル成果

10 7/17の大火球

特集 10 20180728早朝の皆既月食

天体写真集 11-24 報告画像ギャラリー

編集部便り

協会の会報が、日本を代表する天文系2大月刊誌に揃って掲載されましたね!星ナビの方は山本さんのFB投稿で、天ガの方は安元さんのFBへのコメントで知ることとなりました。編集としてはこの上ない喜びです。嬉しくて嬉しくて、うれ・・・

はて、何がうれしいんだ??

自分が何に喜んでいるのか、なかなか解析できませんでした。山本会長とのメールのやり取りや、家族に見せびらかした時の家族からのコメントでようやく頭の中が整理できてきました。

一つ目は、協会の活動や会誌の存在を、こうも早くアピールすることができたこと。会誌復活を強く訴えたものとして、これはかなり嬉しい。

二つ目は、星ナビ紙面ですが、画像と共に記事が原文のまま掲載されたこと。書いたものとしては、嬉しいことです。(山本会長の愛情あふれるコメントは、見せびらかすものではなく、もらった人が大切に心に留め置くのだ・笑)

そして三つ目、天ガは、画像こそ掲載されませんでしたが、会費無料のまま会誌を復活させる方法について山本さんと協議を重ねた結果を評価してくれました。その中で「ユニーク」と表現されています。ユニークな人、という言葉遣いは、面白い人、可笑しい人、という意味合いに考えられがちですが、本当の意味は、唯一無二の、とか、他に類を見ない、とか、つまり

・・・というユニークな形で復活を・・・ は

・・・という比類なき方法で復活を・・・

とかなり強い肯定的な意味合いに言い換えられます。 最後に、会誌復活を願うのは形にして残したいからだったのですが、天ガはその形にすること、の意義を取り上げてくれたこと。(天ガの今月の二つの会報紹介は「復活」もテーマでしたね)ここまでこちらの意を汲んでくれたこと、同意してくれたことがうれしかったんですね~~。

前半の天候がすぐれなかった中、続々とMMが届いています。さあ、8月号ですよ♪

編集:2018年08/02

収載画像 インフォメーション (NO.4437) と

インフォメーション (NO.4440) から

インフォメーション(NO.4526)まで

編 集 者: 藤吉健児

発行責任者: 山本幸司(会長)

記事内容などに質問・ご意見有るときは 大分天文協会事務局までご連絡ください。 大分天文協会事務局

〒870-0924大分市牧3-13-30

TEL: 097-556-9565 FAX: 097-556-5067 お急ぎの時は090-1923-7889 24時間 OK

wae@fat.coara.or.jp

大分天文協会ホームページ

http://astro-oita.org/

2018.08.01 大分天文協会8月例会集合写真



☆☆ 大分天文協会2018年08月例会開催されました ☆☆

2018年度08月の月例会が無事開催されました。参加いただいた皆さん、お疲れ様でした!

日時:08月01日(第一水曜日) 19時より 場所:コンパルホール地下1階団体活動室

参加者(15名)順不同です:

津田・渕・村上・藤吉・井餘田・田崎・安元・小田・吉野夫妻・

村上・山本夫妻・阿部・足立



主な内容

(1) 7月の活動報告

7月04日(水) 例会 <コンパル団活>

・・・19名参加、お疲れ様でした!

7月14日(土) 月例観測会(月齢1) 香りの森駐車場

・・・津田さん一人参加

7月21日(土)「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園

・・・無事開催されました、山本F参加 7月21日(土) 第2回四季の星空観測・野津原中部小校区連絡会

・・・無事開催されました、丸野さん担当

7月28日(土) 皆既月食(月没帯食)(朝) <各自>

・・・大分県内も地域差が有りますが観測できた会員 も多かったようです、綺麗な皆既月食が見れました。

7月28日(土) 月例観測会(月齢15) 香りの森駐車場

・・・山本F2名が参加しました。

7月31日(火)津久見網代島キャンプ・天体観測会

津久見市教育委員会主催 中高生35名予定

担当:事務局F

・・・中止となりました!

(2) 8月以降の活動計画

◆印は、応援募集中です!!!!

【08月】

8月01日 (水) 星空例会 <コンパル団活>

(例会の途中に屋上で火星観測)

・・・15名参加出盛大に開催!!お疲れ様

8月04日(土) まちなか火星観望会 くいこいの道?>(中止)

◆印は、応援募集中です!!!!

◆8月11日 (土) ~8月13日 (月) 清和高原スターフェスタ 参加募集 参加予定

8/11:川端

8/12(11名):川端・山本・渕・梶原・吉野夫婦・

渡並・太田親子・阿部・足立

8/13:川端

協会としては8/12夜参加!

ペルセ観測会もこの日清和で行う予定です。

そのほかの11日・13日は各自自由参加とします、

参加できる方は事務局まで連絡よろしく!

※参加者は添付の駐車券を印刷して車のフロントガラスにおいて ください

なお、今年はバンガローが確保未定のため宿泊は各自が テントや車中泊でご検討ください。

12日の参加協力者には夕食券が出る予定です!

◆8月11日(土) 第三回・四季の星空観測 野津原中部小学校 ・・・担当: 丸野さん・応援募集中

8月12日(日) ペルセ流星群(月例観測会(月齢O.7)) <香りの森駐車場>

8月18日(土)「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて(予定)

8月19日(日) 旧・宮砥小学校にて観望会

・・・担当: 丸野さん

【09月】

9月03日(月) 日田市咸宜公民館「天体の話と星空観察会」

・・・担当:山本F

9月05日 (水) 例会 <コンパル団活>

9月15日(土) 「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて(予定)

9月08日(土) 月例観測会(月齢27.7) 香りの森駐車場(予定)

◆9月22日(土) 第四回・四季の星空観測 野津原中部小学校

・・・担当:丸野さん・応援募集中

【10月】

10月03日(水) 例会 <コンパル団活>

10月06日(土) 月例観測会(月齢26.4) 香りの森駐車場(予定)

◆10月14日(日)「青少年のための科学の祭典大分大会2018」 津久見市民会館

担当:山本・冨成・丸野・太田

その他応援大募集中! 10月20日(土)「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて(予定)

10月27日(土)28日(日)全国天文愛好者交流会

香川大学教育学部

2018.08/01例会

(3) 会報などの紹介

今月も多くの団体から立派な活動の会誌などを頂きましたのでみん なで楽しく閲覧させていただきました。

- ·星屑 NO. 521 熊本県民天文台
- ・科楽知タイム NO.113 児童文学と科学読み物の会



(4)講話「出てほしい大分県の隕石」: 丸野閑由さん

岩城雅枝会員の著作:「ブランデーグラス座」にあるコラム「出て ほしい大分県の隕石」について、丸野さんから講和がりました。

大分県内では隕石の目撃例は多数ありますが、残念ながら見つかっ た隕石は今のところありません。(発見後確定作業中に行方不明の例 はあります)目撃例の一つに、昭和31年6月6日に別府市の小鹿山に 落下が目撃された隕石が有りますが、当時捜索隊が入ったそうですが 発見には至ってません・残念。

今回、丸野さんは、この小鹿山に落ちたと思われる隕石について考 察してみたそうです。 というのも、目撃例は別府市からですが、丸 野さんのお兄様が反対の挟間側から目撃していたそうです。当時この 情報が共有されていたら、2方向からの目撃線の交差で高い精度で落下 点の推測が出来ますから、捜索で発見できる確率もかなり高くなって いたことでしょう!今となっては両情報をすり合わせることは無理そ うですが、何とか捜索できないかと、マップを調べたりしているそう です。丸野さんの今後の研究テーマは「大分県内の隕石捜索」でしょ うか?

是非頑張ってください、大分天文協会内に隕石捜索部を創設しませ んか? 関心のある方は丸野さんに問い合わせください。また、星の 名前の付く山「星岳(由布市)」についても報告していただきました、 ありがとうございます。



(5) 復活会員「阿部哲也さん」

協会設立当初、会員だった阿部哲也さん・・・お仕事の都合で大分 県外に引っ越されて協会からも離れてましたが、少し前に大分に帰っ てこられました。昨年再会し、協会忘年会にお誘いしたら喜んで参加 していただき、例会にも見学に来ていただけました。そして、今月8月 例会で正式に再入会したいとの事で、晴れて協会に復活されることに なりました!!!約、30年ぶりにコンパルホールに来たそうです。屋 上の天体観測ドーム前で記念撮影した記憶が有りますが、もう・・ 30年ですか!!! 大分天文協会の活動は30年前と比べると如何か な?と考える事も多いですが、長く続けていれば、それだけでもまた 思い出して復帰していただけて嬉しいです。継続って…大切です ね!!!今後ともよろしく願いいたします!!!



(6) 内那さん276個目のSOHO新彗星発見!

大分天文協会会員の内那さんのSOHO新彗星発見記録が276個と増 えました!!!おめでとうございます! 7/07に273個目の発見、 7/14に274個目の発見、

7/16に275個目の発見、

そして、7/24の276個目!!!!!

7月も、4個もの新彗星発見、凄すぎるどこまで続くのでしょう か!!!!!

(7) 会誌「NEWアストロインフォメーション」発行報告

(暫定)編集長に就任した藤吉さんからNEWアストロインフォメー ション№.099号発行報告がありました。7/5発行の99号は20ページ 2.3MBと充実した内容で、おかげで、ますます見ごたえある会誌とな りました。観測投稿した会員の皆さんと藤吉編集長に感謝です。

また、7月にはNo.099号のほかに03月以前のバックナンバー版も発行されました。大分天文協会の情報の多くはIT版ミニインフォメー ションで配信されてますが、そのメールを会誌としてまとめていただ けることは本当に貴重な財産になりますからありがたいです!!! (詳細は4ページを参照してください)

(8)情報:「熊本星を見る会有志による天体写真展」

会友の「熊本星を見る会(川端副会長在籍)」有志による天体写真 展「地上の光と宇宙(ソラ)の光」が開催されています。関心ある方 は行かれませんか??

前回が2014年でしたので、4年ぶりの開催だそうです。地上の虹か ら流星、ISS、月、惑星、銀河系内外の天体まで、遠近大小様々な天体 の姿を見ることが出来ます。

(場所)カフェ ブリランテ

熊本市東区桜木2-14-5 (時間)12:00~日没まで 日曜、月曜お休み 開店日 8/1~4、8/7~10、8/16~17(15時まで)

(9) お土産・プレゼント

会員の吉野さんから、香港旅行のお土産に、パンダ型の美味しい クッキーを頂きましたありがとうございます!!!!



(10) 7月の観測報告など

7/31の火星最接近のこの時期、皆さん台風などの悪天候にも負けず 熱心に観測されてます。多くの報告はMMやFBで紹介されています のでご覧ください。例会では、以下の報告・写真紹介が有りました。

①7/28の皆既月食報告(山本)

②惑星とアンタレス付近の写真の紹介(藤吉さん)

稀に見る気流の良い時の3惑星の素晴らしい画像と、素晴らしく美 しいアンタレス付近の散光星雲の画像のプリントは本当に美し かったです!モニターで見る画像も綺麗ですが、やっぱりプリン トして、額に入った写真は一味違いますね!!!写真展をいつか やりたいですね!!!!!



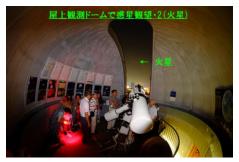
2018.08/01例会

(11) 屋上の天体観測ドームで惑星観望

例会を行う大分市のコンパルホール屋上には、天体観測ドームが有り、 ミカゲの30センチニュートンが設置されてます。 夏休み期間は公開 されているので、一般の方々に交じって、観望させてもらいました。 雲が有るものの、幸いなことに木星・土星・火星の三惑星をみんな

で観望させてもらえました。いつもは写真撮影でゆっくり観望出来な かったり、観測会で見せる側でゆっくり見れなかったりが多い我々で すが、今夜は見せていただく側・・・とっても楽(らく)で楽(た の) しいです・(笑)

熱気でムンムンしてるドームの中にあるニュートンですが、思いの ほか良く見えました、屋上のこの条件でこれだけ見えるなら、意外と 今夜は気流は良いかも?帰って早々に観測しなけば!!!と皆さん帰 宅したいモードになりましたので、火星と一緒に記念写真を撮って解 散となりました!!









20180728配信 No4509

コンパルドーム望遠鏡での火星 丸野 閑由

例会お疲れ様でした。コンパルホール天文台で手持ち撮影した画像 です。カメラはキャノンパワーショットS95です。ISO3200 にしてF4で1/250くらいで接写しました。複数枚撮ってレジスタッ クス処理を考えましたが無理でした。





丸野さんから、例会の時の屋上観測スナップと コンパルのミタカ30cmによる火星の観測画像報告 が届きました

ありがとうございます。

なんと、観望している間に、いつの間にか撮影し ていたのですね?!

▮ 接眼部に手持ちでのコリメート撮影でしょうが、 見事に火星像が撮れてますね、流石です。 *事務局*

(12) 「今月のオークション」コーナー 「南限ギリギリ天体観測&天文気象講座」 「機材・お宝紹介」コーナー 「画像処理セミナー」

・・・今月はお休みでした。







コンパル屋上から見えた昇る火星

アストロインフォメイションバックナンバーご案内

2018年03月から発行を再開しています。今回の7月号まで、毎月1回 発行しています。

なお、さかのぼって、 第94.99号2018年02月 第94.98号2018年01月 第94.97号2017年12月

を発行しました。それぞれYahoo!ボックスからダウンロードが可能です

次のアドレス(リンク)から目的に応じてお好きな方を

ダウンロードしてください

(左上の青い矢印のダウンロードをクリック) ■

1) 通常(通常PDF版: 3~5M) A4版

一般的閲覧・一般印刷機による印刷用はこちらでどうぞ。

·2017.12 (094.97) 号 https://yahoo.jp/box/WSgTHB

· 2018.01 (094.98) 号 https://yahoo.jp/box/dull_Ru

· 2018.02 (094.99) 号 https://yahoo.jp/box/sw8gKg

· 2018.03 (095) 号 https://yahoo.jp/box/BkGw61

· 2018.04 (096) 号 https://yahoo.jp/box/IP2hCW

·2018.05 (097) 号 https://yahoo.jp/box/j6CZ3e

·2018.06 (098) 号 https://yahoo.jp/box/ekTjsf

· 2018.07 (099) 号 https://yahoo.jp/box/tlR2Aw



_ 2)HQ版(ハイクオリティー版:30M前後) タブレットPCなどを使って会誌を電子書籍として 読むスタイル(指を使った拡大操作が可能)に対応 出来るように紙面サイズを非常に大きく、掲載画像の クオリティもあげてます。

高性能の印刷機の場合はこちらのデータをお使いください。 · 2017.12 (094.97) 号 https://yahoo.jp/box/JzZ6eY

· 2018.01 (094.98) 号 https://yahoo.jp/box/VQkW0h

·2018.02 (094.99) 号 https://yahoo.jp/box/6regmQ

・2018.03 (095) 号 https://yahoo.jp/box/YEAULE

・2018.04 (096) 号 https://yahoo.jp/box/cl81_m

・2018.05 (097) 号 https://yahoo.jp/box/rHMdVN

・2018.06 (098) 号 https://yahoo.jp/box/9x5buk

· 2018.07 (099) 号 https://yahoo.jp/box/f-wwox

99号天文雑誌社に発送

毎月発行している天文協会会報であるニューアストロインフォメイシ ョンですが、先月配信しました99号も事務局から天文雑誌社に発送しま した。二つの月刊誌を読みますと、会報会誌紹介というコーナーがあり 実は昔から、こんな活動をしている会があるんだ、と目を輝かして読 んでいました。事務局から毎号配送されているのはMMで知っていまし たが、いつか雑誌社の編集の方々の目に留まることがあるのかなぁ、と 思っていましたが・・・(↓続く) 編集部



星ナビ8月号に掲載されました

大分天文協会会誌:

NEWアストロ・インフォメーション2018.05(NO.097号) が、天文雑誌「星ナビ8月号」の会誌・会報紹介に掲載されました。紹介 された記事は川端副会長と藤吉編集長の 事務局

「熊本・大分地震からあっという間の2年」です。



97号 天ガ8月号にも掲載されました

大分天文協会会誌:

NEWアストロ・インフォメイション2018.05(NO.097号) が、天文雑誌「天文ガイド8月号」の同好会誌紹介にも掲載されました。 紹介された記事は星ナビと同じく、川端副会長と藤吉編集長の「熊本・ 大分地震からあっという間の2年」です。プロの編集者の方々、注目する 点は同じで流石ですね!!!!

また、「大切なことは「形」にしたいものですよね。形に残る「会誌」 の意義を感じました」・・・その通りです、嬉しいです!紹介コーナー のコメント:「一度遠ざかった趣味や習慣でも、年数を経たあとで再開 する事もありますよね、一旦距離を置いたことで、かえってよさが分か るのかも。リスタートはいつでもできますよ!(マナミ)」・・・にも いたく感動賛同いたします!!!!

事務局



「関東天文協会天文台通信148号」受領いたしました

大分天文協会顧問の田中千秋さんから 「関東天文協会の天文台通信152号」が届きましたので ご紹介いたします。

何時もありがとうございます。

神津牧場天文台のHPは以下だそうです、 皆さん是非ご覧ください。

http://kouzu-obs.jp/

事務局

関係各位

お世話様です

関東天文協会神津牧場天文台 田中千秋 です 梅雨が明けた関東地方も再度の前線の刺激で大雨となりつつあります。 皆様方の地域はいかがでしょうか。

さて、天文台通信152号が完成しましたので、BCCで送信します。

ご確認ください。

よろしくお願いします。



<u>゙ニ</u>・チンナ 一彗星と星雲星団の記念写真

20180726配信 No4501

広島天文協会の橋本さんからの情報です! 秋口は星雲星団とジャコビニー・チンナー彗星の 記念写真が色々撮れそうですね!!!

①9/11(火)月齡1.4 ぎょしゃ座M37と超接近

②9/17(月)月齡7.4

ふたご座モンキー&クラゲ星雲の間を通過

③9/25(火)月齢15.8

いっかくじゅう座コーン星雲接近

④10/11(木)月齡2.4 いっかくじゅう座わし星雲横

以下 橋本裕二 さんコメント です

最近、注目を集めている

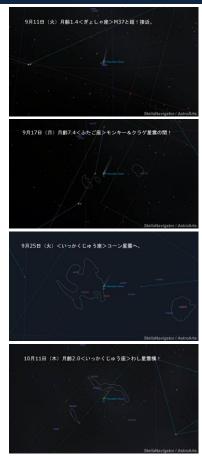
ジャコビニ・チンナー P/Giacobini-Zinner (0021P)彗星ですが、

今後、遭遇する有名天体をチェックしてみました。

9月25日は満月なので厳しいけれど、

それ以外の月齢は最高です。♪

事務局

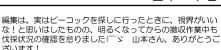


観測地朗報

観測地情報と言うと、街灯が増えたとか、自販機が設置されたとか、 あまり良い話を聞かない事の方が多いのですが、久々に朗報です。

大分天文協会南限ギリギリ天体観測の聖地?牧ノ戸峠下の展望台 ですが、近年展望台間際の雑木が成長して低空の視界に影響が出来 ていました。国立公園内ですから勝手に切るわけにもいかず困って いましたが、少し前に通りかかったら・・・なんと!!!綺麗に伐 採され、阿蘇山方面の展望が凄く良くなっていました!!!F吉隊 長!!!!良かったですね!!!皆さん!!!良かったです ね!!!!

山本 幸司







内那さん273個目のSOHO新彗星発見!

大分天文協会会員の内那さんが276個目のSOHO新彗星を発見しました!!! 7/16の275個目に引き続き7/24に276個目!!!の発見、本当におめでとうございます!そして、お疲れ様です!

事務局

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2画像の、2018/7/7、17h24m~17h48mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。17h24mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=1004、Y=913、(1024X1024、Upper Left)です。SOHO彗星は今年16個目、通算では273個目の彗星となりました。(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 images of Jul/07/2018. 内那 政憲



内那さん274個目のSOHO新彗星発見!

大分天文協会会員の内那さんが274個目のSOHO新彗星を発見しました!!! 7/7の273個目に引き続き7/14に274個目!!!の発見本当におめでとうございます!そして、お疲れ様です!

事務局

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C3画像の、2018/7/13、16h06m~16h30mの画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。16h06mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=680、Y=635、(1024X1024、Upper Left)です。今年17個目、通算では274個目の彗星となりました。(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C3 images of Jul/13/2018. 内那 政憲



内那さん275個目のSOHO新彗星発見!

大分天文協会会員の内那さんが275個目のSOHO新彗星を発見しました!!! 7/14の274個目に引き続き7/16に275個目!!!の発見本当におめでとうございます!そして、お疲れ様です!

事務局

私(内那は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C3画像の、2018/7/15、18h42m~19h06mの3枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。18h42mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=670、Y=615、(1024X1024、Upper Left)です。小さな彗星で、見落としていたかも知れないほどの微かな光芒の彗星でした。今年18個目、通算では275個目の彗星となりました。(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります)



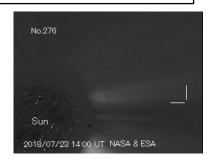
内那さん276個目のSOHO新彗星発見!

大分天文協会会員の内那さんが276個目のSOHO新彗星を発見しました!!! 7/16の275個目に引き続き7/24に276個目!!!の発見、本当におめでとうございます!そして、お疲れ様です!

事務局

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2B/W画像の、2018/7/23、13h25m~13h48mの3枚の画像から、Meyer(メイヤー)群の彗星を発見しました。13h25mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=500、Y=305、(512X512、Upper Left)です。SOHO彗星は今年19個目、通算では276個目の彗星となりました。(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります) I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 B/W images of Jul/23/2018.

内那 政憲



2018.07.21 久住高原・星空の巡り

「2018.07.21 久住高原・星空の巡り」に参加しました

毎月第三土曜日にくじゅう花公園で開催される星空観望会に、今回も応援団として参加してきました。星友のお二人(菊池さん・薬師寺さん)が望遠鏡を使って星空案内人をされ、県立図書館の馬場氏が解説をされる、星空観察会です。今年度5回目の久住高原・星空の巡り

7/21の今回は今まで一番天候に恵まれませんでした。沖縄を通過中の台風の影響で外縁部の雲が次から次に流れ込み、強風・時おり小雨と言う天候でした。それでも、雲の流れの隙間をぬって垣間見れる星々を、みんなで諦め悪く粘って楽しみました・(笑)協会からの参加は、山本夫婦二人ですが、協会も参加している科学館活動の | 井親子さんが今回も参加されました、しかも星好きなご友人ご家族も一緒に! 少しづつファンが増えて行っていて嬉しいです! 山本 幸司

18:30 設営準備開始

菊池・薬師寺氏は、何時もの様にビクセン20cm2台と8cmくらいの計3台を組み立て。今回は何時 雨が降っても望遠鏡を軒下に持ち込めるような位置に設営です、皆さん苦労されますね!時間的にまだ明るい事も有るんですが、それ以上に北極星方向の久住山は厚い雲の中ですから極軸セットも無理そうなので、経験での赤道儀のセットとなります。アライメント取る事も出来ませんので、こうなると自動導入望遠鏡はかえって使いにくいですね・・・・



19:00~随時観望開始

雲の流れは相変わらず速く厚く、中々厳しい状況です。こういったときに大事なのは「見える時に見る」です。イベントの主催者側は、どうしてもスケジュール通りまたはスケジュールを完遂しようとします。当たり前の事ではあるのですが、こと天体観測においては挨拶や他の行事をしてる間は見えてたのに、いざ観測時刻になったら曇ってた!!・・・と言う事がよく有ります。ですから、「見える時に見る」が大事になります。プログラムを変更して先に望遠鏡で見て貰った方が良いのにな・・・と思うのですが、協会で受託しているわけて無く、あえて「も星友の応援ですからその辺は自重して、通りかかる人を捕まえて「「見える星が木星です」「西の雲の間に見えたのが金星です」・・と案内をはじめました。結果的には、暗くなる前のこの時間帯が一番雲の隙間が多かったようです。







19:50~ 馬場氏による「星のお話」講座

今月の注目の星空などをお話しているようですが、雲が多く観測が難 しいので、見られなかった場合はお客さまもがっかりですから、少しで も思い出に残るようなお話をしようと苦労されているようです。



20:00~ 星空ガイド・観測会継続中!!!

お話し終了後も、雲はあいかわらずの状態ですが、それでも雲の速い動きの中、数秒間月が見えたりしますので、雲の動きを見てソロソロ見えそうかな? というタイミングで望遠鏡をのぞくように案内し、3.2.1・・・ほら月が見えた!とご案内を続けていました。また、菊池さんたちの望遠鏡でも木星を何人かの方が見られたようです。それでも雲が多いので、菊池さん・薬師寺さんはパソコンで撮影画像を使っての天体の紹介や、流星動画の紹介などをされてました、ご苦労様です。

夏休みだけあって、子供連れの方が多く、中には星座早見盤を持参の 家族も!・・・山本久美さんが中心になり、星座早見盤の使い方や、雲 間から見える恒星・星座の案内や神話の紹介を行いました。







21:30 終了、片付け開始

今回は天気に恵まれず残念でしたが、熱心に望遠鏡の周りでねばっていた方は、月・木星。金星・夏の大三角・七夕星・北斗七星・・などは見ることが出来ました。次回は快晴の久住の星空となって欲しいですね!!!!

この観望会は、毎月定例の観察会ですし、終了後は花公園駐車場で居 残り観測も出来るようなので(要確認)関心のある方は、お問い合わせ の上、参加如何ですか?

菊池さん・薬師寺さん・馬場さん・・・毎月大変でしょうが頑張って ください!可能なときは、お邪魔虫お助け隊で参加します!協会会員の 皆さんも是非参加しませんか???

第二回・四季の星空観測無事終了しました

-第二回・四季の星空観測無事終了しました。 」

今年から始まった、年6回の天体観測会:四季の星空観測・野津原中部小校区連絡会の第二回目が20人余りの参加者で大盛況で無事に開催されたと報告が来ましたのでご紹介いたします。

企画をされた丸野さん、大変疲れ様でした。第二回目は、天気が良くなかったので屋内でプレゼンなどを中心とした講座形式で行われたそうです。晴れればベランダで観望できる用意もされてたようですが結果的には曇ったようです。もし急に晴れていたら応援がいなかったので大変だったでしょうね!1回目は快晴で生の星空に感動してもらい

2回目は座学で学んでもらい

次回の三回目はその知識を元に生の天体をより深く知っていただけると理想的ですね!

事務局

四季の星空観測会2回目 丸野 閉由

お疲れ様です。

野津原中部校区ふれあい広場協議会の催しで旧野津原中部小学校で四季の星空観測会第二回目が開催されました。台風の影響で空模様が心配されるなか観測は旧校舎2階教室のベランダに据えた望遠鏡に任せて、機を見て月面観測・木星観測などを行いました。

今回は2回目でもあり先月と同じような顔ぶれでしたのでパソコンを使っての画像上映を中心としました。液晶パネルや手作りプラネタリウム上映装置などで星空感を演出?し、環境づくりにも力を注ぎました。国立天文台Mitakaの使用申請も前回からお願いして許可が下りてたので宇宙旅行シュミレーション機能を使ってパソコン上映を始めました。

最初に北極星の見つけ方、星座の話から地球を離陸して地球の大きさ 月までの距離・月のクレーターの話・大分県の生んだ麻田剛立の話・太 陽・水星・金星・火星と説明を続けながら火星ではマリネリス峡谷やオ リンポス火山の雄姿を3D映像を使ったりして楽しんでもらいました。



土星を終わったところで50分かかっていましたので前半終了にしました。休憩を10分はさみ、後半は40分?くらいかけて宇宙の果てまで行き最後に地球へ帰ってくるというMitakaコース旅行を楽しんでもらいました。月のところでは大分天文協会の皆さんの画像をパワーポイントに取り込み少し紹介して説明に使わせてもらいました。月面は川端さんの撮影した画像を使わせてもらいました。

参加者は小学生・中学生・高校生・20代~40代くらいの保護者等で20人くらいの方々が来てくれました。夏休みの初めの土曜日ということもあり、色んな行事が重なったり、地区の別の出ごとがあったりと人数は前回40人より少なくなりました。空模様も雲が予想通り出てきてじっくり観察することはかないませんでした。全て終了後に学校の玄関前でかき氷をみんなで作り、頂きました。

天体観測は十分できませんでしたが、参加者は十分に楽しんでいたように思います。





豪雨災害避難所での観望会

先日の豪雨災害で避難中の兵頭さんから避難所で行った観望会の 報告が届きました。ありがとうございます。

兵頭さんの住む愛媛県西予市も、先日の豪雨で甚大な災害が発生し被害が凄い地域ですが、全国的にはあまり報道されていない状況です。多くの皆さんにまずは知っていただきたいと、Facebookなどで情報発信をして、自治体への災害募金などふるさと納税を活用しての方法などをお願いしてきましたが、その後状況は如何でしょうか?—日も早い復興と日常を取り戻せることを心から祈願いたします。

兵頭さん、毎日慣れない避難生活で肉体的・精神的に辛いでしょうが、どうかご自身の体もご自愛の上乗り切ってください!!!

そんな大変な中、避難所で星空観望会をされたそうで・・・凄いですね!!!!!綺麗な天の川・土星や火星・・・・心労のたまった避難の皆さんにも、宇宙の美しさは、ひと時の涼風となったことでしょう!!

これからも無理ない範囲で得意な分野で皆さんの力になってご活躍ください。くれぐれも、ご無理はされません様に!!! **事務局**

豪雨災害から8日の7月14日。

自宅近隣(愛媛県西予市)でも、生活圏内だった市街地が水没したり、土砂による家屋倒壊、庭の崩落などが多発しました。しばらくは、公民館や避難所のお手伝い、ご近所の様子伺いなどを行っていましたが、この日せっかくの快晴だったので、思い切って、ミードETX105と宮内Bj-100を持ち出しました。

避難所前の駐車場スペースに2台並べて、避難所の皆さんや、熊本から応援に来ていただいている方々に、土星や火星、M7などを見て頂きました。

生まれて初めての土星の環に歓声が上がったり、のっぺり橙色の円 盤?にちょっぴりガッカリしたり・・・。

「ちょっとだけ白い部分があるでしょう。極冠と言って・・・」 「どこどこ? ぜんぜんワカランよ~。」

"小望遠鏡での天体観望会あるある"に、久しぶりに触れたひととき。7日以降、自身の感情のコントロールが難しい状態が続いていたのですが、立ち寄って頂いた皆さんから、たくさん元気を頂きました。





兵頭 健一

南天ぎりぎり天体観測 ピーコック編

連体と快星と仕事の都合と月齢などが絶妙にマッチングしたこの数日、惑星を中心とした星三昧を満喫した(家族サービスもしたよ!と自己申告あり)藤吉さんから、ピーコックゲットの報告が届きました。ありがとうございます。

大分天文協会南限すれずれ天体捜索隊隊長の藤吉さんが、遂に難関のピーコックゲットですね!おめでとうございます!!!ガクルックスアケルナルに比べこれまで観測できた隊員が少ないのは

観測時期や天候の関係もあるのでしょうね。ガクルックスより南中高度は高いんですが・・・。この夜は、見える・・・と言いきったつもりはないのですが!見えるかもよ?っと!! (笑) 観測出来て良かった、安心しました。

それにして、お凄い靄!!!気象情報によるとPM2.5はやや多いクラスですが、連日の猛暑で地表の塵も舞い上がっていた(煙霧)のかもしれませんね、写ってる星々の赤い色がもの語るすさまじさです。以前の地形を合成してみてやっとギリギリ天体と言う事が分かります。おっしゃるように、どのくらいの焦点距離レンズで撮影したら一番良いか悩むとこですね・・・!

いよいよ次はアケルナル、そして藤吉さんにとって恋人ともいえるガクルックスですね、楽しみです!!

事務局

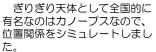
20180717配信 No4477

藤吉 健児

天文協会に入会した時の自己紹介で、大分県内からガクルックスが 見えないかと奮闘中です、と挨拶した記憶がありますが、結局その後、 まだガクルックスはすっきりとは撮影できていません。同様の高度の アケルナルやピーコックを撮影してからじゃないとガクルックスは 逢ってくれないのかな?と思い、今年の夏・秋は、その二つを撮りに 行こう!と、6/1の不満足な結果の後に決意していました。と言って も誰も信じてくれないだろうなと思う理由は(^^ゞこの7/15の未明の ピーコック南中はまったくノーマークだったから。山本会長から今夜 は好条件だよ、とメールをいただくまで全く考えていませんでした。 もともと天の川のタイムラプスを撮りに行こう、と計画はしていたの で、塚原に行くつもりを、ほんのちょっとだけ(笑)足を延ばして牧ノ 戸まで行ってきました。低空はPMか霧なのか、まるで見えやしませ んでしたが、カメラの中ではピーコックが煌々と輝いていました♪次 にアケルナルと逢ったら、いよいよガクルックスも僕に逢わざるを得 なくなるでしょう!しかしあまりに低空が見えないのでぎりぎり感が 出ません。過去の同じ場所・同じレンズの同じ焦点距離で撮影した稜 線を同じ拡大率のシミュレーション画像と位置合わせすることで、星 との位置関係を割り出し、比較明合成の画像にコンポジットしてみま した。70mmで撮影するとぎりぎり感が薄まりますね・・・(^^ゞそ れにしても、何もかもが真っ赤に写っています。どれだけ霞んでいた かご理解いただけると幸いです。







ちなみにこの日は奄美大島の南西に雨雲があったようですが、 奄美より北は快晴だったようで す(日本気象協会データ)。







清和高原天文台トライアル成果

川端さんから、清和高原天文台50センチでの観測報告が届きまし た、ありがとうございます。吉野さんからも投稿ありましたが、50 cm巨砲を活かした惑星の観測画像は凄いものですね!!!!以前は、 あまり良く見えない評判を聞いていましたが望遠鏡の性能自体の問 題ではなく、環境・整備・調整まど運用面の問題であることも今回 の川端さんたちの作業で確認できましたね。とても成果有る事だと 思います。良く見える・よく写る望遠鏡と分かれば見学者も増え、 利用者増加にもつながり、維持費などに使える時間お金が増え、更 によく見えるようになる…そんな好循環スパイラルになってほしい ですね!!!

折角の巨砲:仲間内でだけでも「ミヤモト望遠鏡」と呼びましょ うよ!!!! (笑)参加された皆様お疲れ様でした!!!

巨砲を活かした、火星の画像…すさまじいばかりです。光量が豊 かでこれで砂嵐が少なかったらどんな模様が見えるんでしょうか! 早期の砂嵐終了を願うばかりです。それまでダストストームの変化 を継続観測できると研究にも役立ちそうですね!!! 事務局



FB 友の会 への吉野圭司さんの7/13の投稿より

50cmF5ニュートン鏡筒(初代天文台長宮本幸男さんにちなみ「ミヤ モト望遠鏡と 呼びたい(^^;))

熊本星の会:吉田さん、金坂さん、

大分天文協会:吉野さん他スタッフの皆さん

ご協力ありがとうございました。

50cm苗村鏡の整備を兼ねて実施した惑星中心の撮影会でした。気流 に左右される 惑星撮影ですが、好天に恵まれ、まずまずの成果が得 られたかと思います。最大の問題点は主鏡の冷却でしたが、簡易的 なファンの装着で十分な効果がありました。残るは光軸と極軸。50 センチのポテンシャルを最大限に発揮するためにも追込みが必要とな ります。今後の課題です。

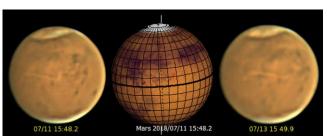
この後火星の大接近、スターフェスタ とイベントが続きます。可 能な限りのサポートを出来ればと思います。撮影会は改めて実施しま す。腕に覚えのある方奮ってご参加お待ちしてます(^^)

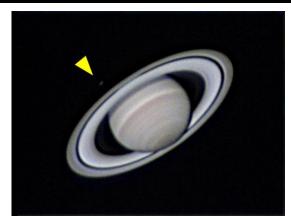
最後に今回の撮影会での成果?「マリネリス渓谷でのダストストー ムの蛇行?」よくわかりませんが、渡辺さんのご指摘であったように 谷に入り込んだダストス トームが見えてるわけですが、11日にWの 形に蛇行してたものが、13日には真っ 直ぐに見えてます。短期間で のダストストームの変化を捉えたものではと思いま す。皆さん如何 でしょう?

土星衛星ミマス(見ます?)(^^;)

土星撮影中に写りこみました。これも50センチのパワーでしょうね。 2018-7-14 23h38m41s (JST)







7/17の大火球

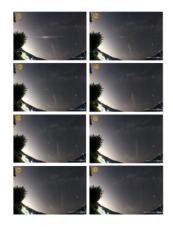
20180719配信 No4487

奈須 栄一

17から18日にかけて、二台のカメラで固定撮影をしていますが、 大流星を撮影できたので報告します。7月17日23時41分に北の方 から南に流れています。岡山の横道さんによると広島から大分にかけ て流れたようです。痕の継続は、30分以上継続しています。等級は、4.9位かと・・・。動画は、

https://youtu.be/9I4bZFgPYKo

にて参考にお願いします。編集に時間がかかって報告が遅れました。







CanonEOSx7i ISO6400 露出17秒 レンズシグマ8mm

奈須さんから7/17の大 火球観測画像と動画紹介 が届きました。ありがと うございます。凄い大流 星ですね!!!素晴らし い!しかも大きな痕が 30分も残っていたそうで す。このあたりの様子は YouTubeにアップされ た動画を見るとよくわか りますので是非ご覧くだ

さい。8mmの超広角レンズにいっぱいいっぱいちょうど良い構図でこんなに 大きな流星がぴったり入るとはなんと幸運でしょうか!!!!幸運と言うと 運が良いように聞こえますが実際は晴れたら毎日一晩中撮影する事とその膨 大な画像を毎日確認する、その日々の努力が幸運を引き寄せるんですね!こ Ⅰ れからも引き続き頑張ってください! 事務局

-10-

特集!20180728早朝の皆既月食1

201年07月28日早朝は皆既月食でした。

2:15半影開始 3:24本影開始 4:30皆既開始 5:22食の最大 6:30皆既終了

T.

L

という時間帯で、大分からは西の視界が広ければ皆既の状態で沈む月が見られる条件でした。天候も不安定な中、 多くの方が観測できたようですね。 編集部

奈須さんから 今朝の月食の観測画像が届きまし たありがとうございます。起き抜けですぐに撮影 できる環境は羨ましいですね!!!今回の月食報 <u>事務局</u> 告の第一号は、奈須さんでした!!!

目が覚めたら4時でした。どうにか皆既直前まで見 れました。でも、急に見えなく成っちゃってんです。 300mm望遠で撮ってトリミングしました。

20180728配信 No4505

奈須 栄





太田さんからも 今朝(7/28)の皆既月食の観 測画像が届きましたありがとうございます。 大分市南部にお住いの太田さん、県南・東部は雲 が多いという判断をして県北真玉の方に出撃され たそうです、瞬時の判断即行動のフットワーク… 流石ですね!!!ただ、県北でも曇った地域も有 るそうですから真玉方面晴れて何よりでし た!!!今回は低空・薄明と言う条件でしたが、 PM2.5などは少なかったようで(台風のおかげ か?) 超低空でも綺麗な赤道色が見れて、観測出 来て良かったですね!!!

20180728配信 No4506

輝章 太田

今回の月食は西南西の低空で、観測室から見えたの かも知れませんが、22:00頃には東から雲が迫って おり、まだ月や火星は見えるものの既に臼杵や津久 見の上空らしきところは完全に曇っていたので、 悟を決めて予定通り出撃しました。当初は久住にし ようかと考えていましたが、即決で県北にしました。 初めて行った真玉方面で、ウロウロしながら最初は 添付★印の左下の四角いエリアにセッティングしま しかし2:00頃には月の下方に雲が溜まってき たようなので諦めて北上しました。

★印の場所で上空を確認すると状態は改善されてお り、ロケーションも良かったので

路肩にセッティングしました。場所が狭いので、点 滅LEDライトを足元に置いて安全確保しました。そ の時間帯は交通量ほとんど無し。車は反対側の工事 中エリアに置けたので良しとしました。終始北から の雲の流れが速かったので、多少雲がやってきても 撮影には影響が無いと言っていいくらいのレベルで した。皆既に入るところで低空にある雲に阻まれて、 もうだめかと諦めかけましたが、ちらちら見え隠れ したのでそれを逃さずに撮影できました。バックが 青く薄明中の皆既が表現できたと思います。パト カーには出会わず職質ありませんでした。また、野 生動物らしきものは見かけませんでした。 Vixen ED102S GPD2赤道儀 Nikon D5500

ISO 200 1/320秒 ISO 200 1/2秒

ISO 200 3秒 ISO 200 8秒

ISO1250 3秒

ISO1600 4秒

(撮影時刻順)





山本さんは、なんと皆既月食だけでなく、イリジ ウムフレアまで計算に入れている、という、情報 編集部 収集の豊富さ!さすがですね!

20180728配信 No4508

山本

各種天気予報・津田さんの天気予想を見比べて悩み ました。大きな傾向としては、東より西・南寄り 北!ただ、どこに行くかが問題です、以前、走り 回って結局自宅付近が一番晴れていたという(結果 論ですが) 苦い経験も有ります・(笑)結局は慣れた 環境で安心してを第一に・・・香りの森に出撃しま した。到着してみると意外と晴れてて、この空だったら諦めてた広角での連続写真も撮れそう!!!タ イムラプスも出来るかな?そう言えばイリジウムフ レアも有ったな・・・!

曇を想定していた計画が良い方に外れ、準備不足で 何から手を付けたら良いかドタバタして機材の設営 に取り掛かりました。・(笑)同行の山本久美さんは イスを出して双眼鏡を用意してじっくり観望スタイル・・・これが一番楽で楽しめそうだな!!と・思 いつつも、病気の私は撮影撮影とあたふたしてばか りです・(笑)流れ雲も有り、水蒸気?霧?靄も少し ありましたが、大きく天候も崩れず、肝心の低空も 山際まで雲が無く皆既の赤い月と火星の赤色の競演 を堪能できました!・(笑)

連続写真の場合、部分食の時の露出調整は控えめに しないといけないのですが、今回は火星と月のラン デブーを写したかったので、あえて調整しませんで した。このため前半の部分食が露出オーバーになっ てます!・(笑)色の変化は肉眼より写真の方が強調 されますが、それでも何度見ても不思議な雰囲気で す。地球の影の丸さ、大きさも体感でき、地球は丸 い事を実体験できました。動画もご覧くださ

61111 月食観測中にIridium 52のイリジウム・フレアが観 測できました。機材が魚眼レンズしか残ってなかっ たのでトリミングしてます。また、部分月食中の月 は露出オーバーになってるので別撮り画像をはめ込 んでいます。

① 「 2018.07.28 皆既月食と大接近火星の赤色共演 」 撮影日時: 2018年07月28日 03:24~04:51 機 材: FUJIFILM X-T1/XF18-55m (f=42 F=4.0) 固定撮影 比較明合成

撮影地:大分市香りの森付近 ②「 2018.07.28 皆既中の月と火星 」 日 時:2018.07.28 04:41:09 撮影地:大分県大分市香りの森付近

材:固定撮影

Nikon D810A ISO 3200 1.0sec Nikkoor*ED 50~300mmF=4.5(f=200mm

F = 4.5





③動画「 2018.07.28 皆既月食と大接近火星の赤色共

撮影日時:2018年07月28日 03:24~04:51

嬔 材:FUJIFILM X-T1/固定撮影 撮影地:大分市香りの森付近

影:山本 幸司(大分天文協会) 高楽:弥生の空

著作者: 甘茶の音楽工房 https://youtu.be/c9yhMWr1ZPA

2018.07.28 月食中のイリジウムフレア 日 時:2018.07.28 04:04:50 (フレアセンター)

撮影地:大分県大分市香りの森付近

機 材:固定撮影 ISO1600 200sec×6枚比較明合成 部分月食の月は別撮り画像をはめ込み

FUJIFILM X-A1/ SAMYANG8mm F2.8 UMC Fish-eye II

特集! 20180728早朝の皆既月食2



別府市は肝心の西空に鶴見・由布の高山がそびえ立ちますから視界的にも厳しいですが、気流が安定しない時にはすぐに雲が湧きますので大変だったと思います。心配通り雲に邪魔されたようですが、そこは無類の諦めの悪さ・・じゃ無く、無類の粘り強さ(?)の藤吉さん! 粘りに粘って見事皆既画像をゲットされたそうです、お見

事務局

ı

20180728配信 No4509

事!!!!!

藤吉 健児

白んだ空に浮かぶ赤い月が山の稜線に沈む、そんな 光景を思い描いていましたが、残念ながら山の稜線 に発生した雲のためその光景を見ることはかないま せんでした。せっかく月没帯食だったのに・・・そ の上、食の開始直後から山を越える場所で雲が発生 し、見事に雲のカーテンの中で食が進行する、とい う事態に。何度も諦めてもう寝ようと思ったかわか りませんがそこはそれ、稀代の諦めの悪さ・・・い や引き際を知らないと言うべきか。結果的にそれが 良い方に転び、何とか皆既直前まで見ることができ ました。

- 1・白む空に沈む皆既直前の赤い月
- 2・我が観測場所から見えた最大食分
- 3・月食の経過(悪あがきの好転)
- 2018.07/28早朝

別府市リサーチヒルにて撮影





井餘田さんから、今朝(7/28)の皆既月食の観測報告が届きました。ありがとうございます。 拙いどころか、工場萌えするようないい感じの写真ですね、個人的には、萌えます!!!!煙突の煙かと思えば雲なんですね?赤い火星と月の見事な構図ですね!お疲れ様でした!!!! **事終局**

20180728配信 No4509

井餘田 敏彦

つたない出来ですが、月食の写真を送ります。朝3時に起き、大野川河口に移動。あいにく雲が立ちこめていましたが、四時過ぎまでねばりました。3時50分ころを最後に、完全に雲が覆ってしまいました。何回か顔をだしてくれた中で、その中でも、火星と同時に現れた数少ないショットでした。200mm(70-200mm)f5.0 EOS6D撮影時刻 4時00分49秒です。



山本さんの比較明画像パート2です。全体の露出を揃えるために露出オーバーとなった前半を思い切って省くことで、全体が落ち着いた雰囲気になりましたね。何を見せたいか、意図を絞り込むことも重要、というよい例ではないでしょうか?それにしても何と色鮮やかな・・・ 編集部

20180728配信 No4511

小本 幸司

1

色合いの綺麗な終盤部のみを編集してみました。 赤い天体の共演、ウットリです!



吉野さんからも、皆既月食観測報告が届きました。ありがとうございます。吉野家は家族で深夜の久住ドライブ? 羨ましい!!・(笑)高原の久住、遮るものが少ない絶好のロケーションですから、ご家族で綺麗な赤い月が草原に沈んで行くところが見れたことでしょう!!!今回はpm2.5なども少なく綺麗な赤道色だったように思いえます。それでもパープルフリンジは・・・低空ですからね?!(笑)朝焼けの久住も良かったでしょうね!!!!

20180728配信 No4511

吉野 圭司

自宅からは西空に沈む月を見ることが出来ないので、車を走らせ久住まで行ってきました。家内と娘も見たいということで、真夜中の星見ドライブとなりました。皆既月食が始まる頃になると、東の空が明るくなってきましたが、何とか赤い月を撮ることが出ました。パーブルフリンジは高度が低いせいかはっきりしませんが、何となくあるような。。ないような。。。。

2018年7月28日、4:38:08 Blanca 102EDT + D810a ISO5000 1/13秒

2018年7月28日、4:28:34 Blanca 102EDT + D810a ISO5000 1/30秒





梶原さんからも、皆既月食観測報告が届きました、ありがとうございます。日田市でも観測出来て良かったですね!それでも皆既直後に曇ったのですか?ぎりぎりセーフですね!!!!皆既の時は薄明はじまり、地平線に近づきましたから晴れていてもそんなに長くは観測できなかったでしょうがそれにしてもギリギリ皆既迄見れて何よりです。西に行けば行くほど天気が良いのかと思いましたが一概にそうも言えなくて難しいですね。観測画像は見事なまとめ方で流石ベテランさんです!!!台風お気を付けください!

20180728配信 No4517

コマ撮り部分を張り付けて月食経過を1枚の写真にしました。いつも天体イベントがあると曇る日田ですが、今回はどうにか晴れてくれ(皆既後2分ほどで雲に覆われ見えなくなりましたが・・)天体ショーを楽しむことが出来ました。台風が接近していますが皆さんに被害のないことをお祈りいたします



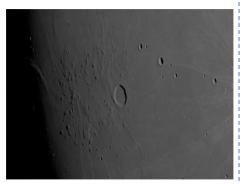
20180703配信 No4437

梅雨&台風で開店休業・未発表月面 川端 孝幸

梅雨&台風で開店休業、そんな時は未発表ファイルから3月29日の月(^^;)



1)アリスタルコス周辺



2)マリウス丘周辺



3) デ・ガスパリス谷、メリセニウス谷、リービッヒ壁、 ドッペルマイヤー谷、パルミエリ谷、キャベンディッシュ、 ヴィエタ、フォンターナなどなど

共通: C14+IR76+ASI224MC

20180705配信 No4440

月の名所シリーズ NO.4 & NO.5 安元 治義

この回より地名と位置を入れてみました。モッカ猛 勉強中です 。間違いがありましたらご指摘くださ い。またご指導よろしく

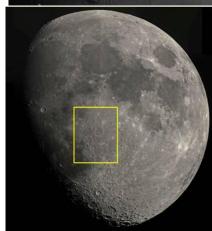
NO.4 NO.5 共通 20cm反射F5直焦点 ASI290MC IR76





月の名所シリーズ NO.4 アルプス山脈〜コーカサス山脈 3xバロー 7コマモザイク





NO.5 中央火口列 3xバロー 3コマモザイク

20180706配信 No4444

NGC6888とS字状暗黒星雲 梶原 達夫

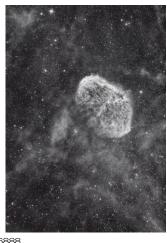
こんばんは

そちらは雨は大丈夫ですか?日田は結構降っている し、今夜あたりさらにひどくなりそうですが、幸い 我が家は孤立することはあっても、水と崖崩れはな さそうです。

今日、山田さんよりOOAの表紙に写真掲載の依頼があったので、北アメリカとペリカン星雲の写真とデータを送りました。

先日の月例会は沢山の方が出席されて楽しそうで したね、私はなかなか参加できないので大分の方々 が羨ましいです。

先日FB に投稿した画像をお送りします、ご笑覧下さい。梅雨時期は家にこもっていることが多いので、以前の画像を引っ張り出して画像処理の手順もかねて再処理し復習をしています。(期間が開くとすぐ忘れてしまいます)画像撮影日が何れも古くて申し訳ありません。



NGC6888 撮影機材 30cm Newtonian F6→F4.8 FLI IMG6303E 冷却CCDカメラ-25℃ アストロドン Hα フィルター半値幅6nm 15分×9枚 ピニングなし Maxlm DL CCD Stack2 Photoshop CC で画像処理



S字状暗黒星雲 (へびつかい座) 30cm Newtonian F6 直焦 FLI IMG6303E 冷却CCDカメラ -25℃ L5分×10枚 RG5分×3枚 B5分×4枚 ビニングなし Maxlm DL CCD Stack2 Photoshop CC で画像処理

20180707配信 No4446

全国で大変な水害が起こってる今年の七夕、 七夕の星々が見えない。。。など言ってるどころ でない方々も大勢いる事と思います。全国の天文 協会の会員の方々の中には、避難をされている方 も居ますが、現時点では人的被害の報告は聞いて いません。これからもない事を切に祈っています。

被害にあった方々の一日も早い日常の回復を願う ばかりです。

雲間から星々が見れれば、綺麗な天の川に皆の無事をお祈りしたいですが、いまだ雨が降り続いていても大の川は無理そうです。そんな中、藤吉さんが素敵な天の川付近の動画を作ってれました。見させてもらったら、なんと素敵な動画でしょうか!!!そうです、気候が平和であれば、そして晴れていれば今夜もこのような綺麗な天の川を多くの方が見れたはすです。ところが自然なる意味自然ですから、仕方ないさはいれることも言えないむなしさを感じます。それでも見たいないように頑張りたいと思います。そんな気持ちをこの動画者のたいと思います。そんな気持ちをこの動画者のたいと思います。とんな気持ちをこの動画者のたいと思います。した、日も早く、皆で、れてけをかなえて欲しいです!!!それだけをかなえて欲しいで

夏の星空のスライドショー 藤吉 健児

せっかく撮った画像をなんとかまとめられないか、と、夏の天の川周辺の星空をスライドショーにしてみました。今年は七夕の星が見られない・・・と嘆くよりも、すんでのところで水害に見舞われずに済んだことを喜ぶべき、というとんでもない天候です。せめてもの癒しになれば・・・



https://youtu.be/W1xv28lkEiM

20180708配信 No4448

又、来シーズン M51 安元 治義

10時間露出を目指しましたが 西の空へ行ってしましました。又 来シーズンにトライです



20cm反射F5直焦点 60sec~180sec x253 6h49m30s露出

2018.07.08 ス々の星:金星

山本 幸司

今夕、雲の隙間から久々に星が見えました。宵の明星:金星です。大嵐のような雨が去った後、地上はそれまでの生活が一変したような地域も多く大変ですが星の世界は変わらず輝いてい居ます。その変わらないのが・・・なぜか、嬉しいです。



FUJIFILM X-A1/SAMYANG8mm F2.8 UMC Fish-eye II ISO:6400 露 出:1/2秒 手持ち撮影

20180709配信 No4449

昨夜(7/8-9)の惑星たち 川端 孝幸

木星

だいぶ西に傾きました。そして少し小さく。 2018/07/08 22h17m46s (JST)

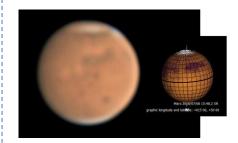


土星 衝後の土星です。もうしばらく好機が続きますので 何とかいいショットが撮りた いですね。 2018/07/08 22h38m02s (JST)



火星 1週間ぶりの火星は一段と大きく輝いてました。 気流の改善を待っていて、不覚にも椅子で爆睡。最 初の2コマのみ(:∀:) APを絞った処理で不明瞭な画像ですが、だいぶ模様

が見えるような気がします。 2018/07/09 O0h48m09s (JST)



20180709配信 No4450

2018.07.08 1日遅れの七夕様 山本 幸司

光害の中の道撮りですが、一日遅れの七夕の星々と 火星が見えてきました!!!



FUJIFILM X-T1/SAMYANG8mm F2.8 UMC Fish-eye II ISO: 3200 露 出: 3.0秒 固定撮影

20180709配信 No4451

2018.07.08 昨夜の火星です 渕 辰夫

久しぶりの梅雨の晴れ間、と思ったら、もう梅雨明け?。うっすら表面の模様が見えています。休日庭木の剪定でバテてしまい、それに、今朝早朝より仕事だったので、雲が移動するのを待って撮影、直ぐに望遠鏡を撤収しました。高湿度で、風も無かったのですが、気流も悪かったですね~。



7月8日23時54分~ 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc 赤外カットフィルター シャッター4ms 240s×1 autostakkert Registax

20180710配信 No4452

昨夜 (7/9-10) の流星 奈須 栄一

雲が多いながらも1個確認できました。



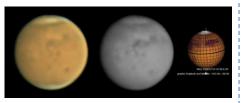
20180711配信 No4454

昨夜(7/10-11)の火星

川端 孝幸

火星接近中(^^;)

梅雨明け後の快晴が続いてますが、2日連続でシー イングは酷いですね。今朝は何とか少し収まってき たようです。今回はカラー画像とIR760nmパスで の画像添付。一部の模様が見えてます。



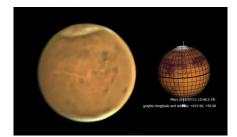
20180712配信 No4455

清和高原天文台50cmトライアル! 川端 孝幸

マリネリス渓谷現れた!タルシス三山!オリンポス 山も!!50cmの威力は大したものです。

テスト撮影の11日から日付が替わって12日2時頃 まで、清和高原天文台の主砲50cmF5ニュートン

(苗村鏡)にて惑星撮影を行いま した。幸いにも好 天に恵まれ、標高700mの高原では、夕立後のガス が低空に若干 残りましたが、深夜になるほどコンデ ションは良くなりました。仮付けの冷却 ファンもそ れなりの効果があったみたいで、筒内気流も気にならないレベルでした。今回はテスト撮影ということ バロー系も2倍で強行、適正倍率に修正して再 度撮影を試みる予定です。



2018-07-12 00h48m14s (JST) 2018-07-11 15h48m14s (UT) 機材:50cmF5ニュートン式反射(清和高原天文台) +ADC(自作)+2倍パロー+ASI224MC

Pan=328 Tilt=244 Output Format=AVI files (*.avi) Binning=1 Capture Area=648x488 Colour Space=RGB24 Temperature=30.5 Hardware Binning=On High Speed Mode=Off Turbo USB=100 Flip=None Frame Rate Limit=Maximum Gain=281 Exposure=0.0125 Timestamp Frames=Off White Bal (B)=95 White Bal (R)=52 Brightness=1Gamma=57

20180712配信 No4456

20180712末明の火星

健児 藤吉

昨夜の火星は挙動が落ち着いていました! 我が家か らみて大分市上空に昇り始めたときから一夜前のあ の大暴れがうそのようにちらつきの少ない光点でし た。南中前頃から薄雲なのか、一夜前同様猛烈に踊 り始めたものの1時半ごろからまたピタッと止まっ てくれました。 喜び勇んで望遠鏡をのぞいてみると アイピース越しにはただのオレンジ色の球体にしか 見えずまだ砂嵐は収まっておらず何も見えないのか な?と思いましたら、画像処理したら結構見えてき ました。かなり落ち着いたシーイングだったと思い ますが火星の縁の部分はゾウリムシの繊毛運動のよ うに動いていましたのでその辺のスタックがうまく 行ってないかもしれません。



2018.07/12 02:19~2:30 自宅庭にて Celestron Edge HD800+Celestron 3xBarlow ZWO ADC+ZWO ASI290MC EM100

2:27JSTの画像をWinJupos Derotationで出力 2:28の時点でCM=107.1

FocalLength=9200mm Gain=360 Gamma=40 Shutter=6.973ms Duration=90.002s Frames captured=12890×7

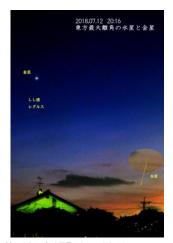
AS!3(AP7 · 50%) Registax6 WinJupos(7Fr) CS2

シレーンの海・太陽湖・オリンポス山などが見える位置

20180712配信 No4457

2018.07.12東方最大離角の水星 と金星 山本 幸司

今宵は太陽の一番近くを回っていて中々見つけにく い水星が、太陽からもっとも離れて見えます。夕方 薄明が終わるころ、肉眼でも良く見えるはずでした が、低空の雲に意地悪されました。双眼鏡の力を借 りたら何とか見えましたが、肉眼ではかろうじて見 えてる気がしたくらいです。写真では、多数枚撮っ た中で数枚に写ってましたので画像処理で強調して みました。



撮影日時: 2018年07月12日 20:16 機 材: FUJIFILM X-T1/XF18-55mmF2.8-4

(f=44 F=4.0) ISO:3200 露出0.4秒 トリミング 固定撮影 撮影 地:大分県大分市牧付近

20180713配信 No4459

今だけ見える北極星

名倉 慎治

名倉さんからご実家越しに見える北極星の星景画 像が届きましたありがとうございます。

ご実家の前の家を建て替えるそうで、工事前の空 き地の時だけ見える星景なのですね!昔はもっと 空が暗く綺麗だったというのはいずこも同じです ので。少し寂しいでしょうが。比較明合成の画像

でしょうか?それでも計10分間露出できる空は良 【 い方ではないでしょうか?・(笑)

今だけ見える北極星。明日は地鎮祭。普段撮らない 写真です。50年間見続けた星空。昔はもっときれい だったのに・・・



eoskissx5 EFS18mm f5.6 露出 10m

20180714配信 No4461

昨夜(7/13)の清和高原天文台!

川端 孝幸

吉野氏と50cm鏡での撮影にトライしました。日没直 後は木星と金星くらいしか見えない状況でしたが、 すぐにほぼ全天快晴に。ガスは多少あるものの風も なく気流も落ち着ていました。しかしいい状態は夜 半まで、土星までは順調でしたが、肝心の火星が南 中近くに なると気温が低下、風も出てきてシーイン グが悪化。雲も出てこの日の撮影はお開きとなりま した(^^;)とりあえず条件の良かった土星を1カット 掲載。今回ファンを追加して、さらに放熱の促進を 図りました。あまり見えないと不評だった鏡も本来 の性能を取り戻したようです(^



50cmNewtonian (F5)+2倍パロー+ADC+ASI224MC 2018-07-13 23h20m50s (JST) Pan=252 Tilt=188 Output Format=AVI files (*.avi) Binning=1 Capture Area=800x600 Colour Space=RGB24 Temperature=33.1 Hardware Binning=On High Speed Mode=Off Turbo USB=100 Flip=None Frame Rate Limit=Maximum Gain=431 Exposure=0.0125 Timestamp Frames=Off White Bal (B)=95 White Bal (R)=52 Brightness=1 Gamma=57

20180714配信 No4462

20180714末明の火星

藤吉 健児

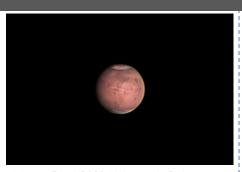
ı

ı

事務局

一昨夜は曇ってしまいましたが、昨夜は快晴、気流 も良い状態が続いていたようです。肉眼的には12日 未明の方が良さ気に見えていましたが、ちょうど撮 影前後の時間帯はその時と遜色ない安定ぶりでした。 川端さんの画像を見て、運河だぁ!とわくわくした マリネリス峡谷がこちらを向いている時間帯でした が、峡谷の割には黒く見えず、逆に白く輝いて見え ています。FBへの新潟の渡辺真一さんのコメントに よれば、深さ7000mにもなる峡谷に砂嵐が舞い込 んでいることで逆に明るく見えることもある、との ことです

2年後の接近の時には、前回は砂嵐がひどくて峡谷 が白く見えていたね、と振り返ることができる画像 になったのかもしれません。それにしても昨日まで の澄んだ空がうそのように、今日の昼間は白く霞ん だ大気となっています。大陸から台風が去ったから でしょうか??気流がよく透明度がよければ20cm でもここまで見えるんですね。



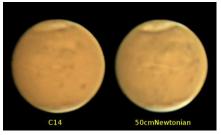
Celestron Edge HD800+Celestron 3x Barlow ZWO ADC+ZWO ASI290MC Takahashi EM100 + PoleMaster 2018.07/14 00:39:38~00:52:03JST Duration 90s × 6Set CM=65.0° (00:48:55JST) FireCaptureV2.6Beta FL=8800mm Gain=340 Gamma=40 Shutter=5ms Captured 13190×7 ASI3(AP7 50%) RS6 WinJupos CS2 DeRotation=2018.07/14 00:48:30 JST(+0900) &

20180714配信 No4463

50cmNewtonian vs C14

川端 孝幸

シーイングも不良、処理テイストも時間も場所(標高700mの清和高原から60キロ下って熊本市から) も若干異なりますが、同夜の比較です(^^) 拡大率は大体合わせてます。シーイングがイマイチ なので差があるようで、無いような??

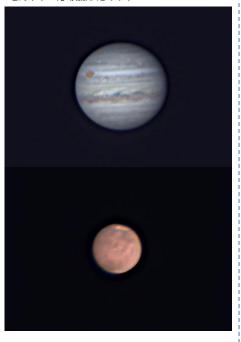


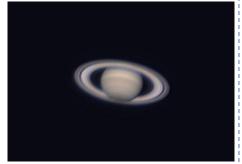
2018-07-14、00h49m50s (50cm) 03h21m50s (C14)

20180714配信 No4464

7月13日の3惑星 安元 治義

久しぶりの晴天 、雲に邪魔されずに撮影できました 。調子に乗って撮影したので処理が追いつきません!! 何 枚撮ったの!!





共通 20cm反射F5直焦点 ASI290MC 3xバロー

20180715配信 No4465

M16・創造の柱のアップ 安元 治義

待ちに待った梅雨明け、土星の側のM16 (2xdrizzle)





20cm反射F5直焦点 KISSX5(IR改) LPR-N Light60secx52 Darkx10 Flatx10 2x drizzle

20180715配信 No4466

13日の惑星たち 太田 輝章

13日の惑星たちです。同倍率にしています。金星と 火星が成長してきているので木星と土星が妙に小さ く見えてしまいます。火星は相変わらす模様が見え にくいので無理な処理はしていません。

金星は明るすぎるため緑フィルタをかけたのでモノ クロに変換しています。前回同様、成長の過程を並 べてみました。水星も撮りたいのですが、チャレン ジする機会がなかなかありません。





20180715配信 No4467

清和高原天文台50センチの土星・火星 吉野 圭司

7/13.14の2日間、清和高原天文台の50cm反射を使って惑星写真を撮らせて頂きました。川端さんが改造してくれたおかげで、安定した像が見られるようになっています。14日に撮影した土星と火星をお送りします。さすが50cmだけあって、土星はヘキサゴンが確認できますし、火星はマリネリス渓谷も写ってくれました。



土星 少しソフトに処理してみました。 50cmニュートン+2倍パロー+ADC+ASI290 Date=140718 Start=223802.271 Mid=223902.241 End=224002.212



火星 夜半過ぎると気温が下がり気流も悪化しましたが、砂嵐の中 思った以上に写ってくれました。 50cmニュートン+2倍パロー+ADC+ASI290 Date=150718 Start=001854.090 Mid=001939.091 End=002024.092

20180715配信 No4468

21Pジャコビニ・チンナー彗星 安元 治義

ケフェウス座を移動中。わが観測小屋からも今夜は 天の川が見えています。デジイチをセットし、かね てから気になっていた(早く撮らないと見えなくな る)21Pを撮影。火星は今夜はお休みです (専用機が欲しいよう 何処か落ちてないかな!)





20180715配信 No4469

今流行りの3惑星

渕 辰夫

今度は晴れても、他の用事で思うように撮影出来ません。先日撮影しやっと画像処理しました。自宅庭は地形の影響なのか夕方の気流は普通ですが、夜中〜明け方にかけて気流悪化が進行します。 火星の時間帯は悪気流ですので不鮮明な画像になります。 強力な画像処理で惑星の周囲にリムが出たり、惑星の周囲がボケている画像では意味がないので、できるだけ不自然にならないようにしています。



火星データ: 2018年7月14日02時05分センター 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc 赤外カットフィルター シャッター4ms 240s×5 autostakkert Registax Winjupos



A重アーダ: 2018年7月13日20時46分センター 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc シャッター10ms 90s×9 autostakkert Registax Winjupos



主星データ: 2018年7月13日21時52分~ 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc シャッター40ms 120s×1

20180715配信 No4470

豊後富士の綺麗な夕空の金星と細月中島 朋子

2018*7*15、我が家から、月☆金星と大分の富士 山 豊後富士と 夕焼け♥ 贅沢です…(#^.^#)



2018.07.15 月·水·金 山本 幸司

タ方自宅前の公園で月・水・金が綺麗に見えました!!!



撮影日時: 2018年07月15日 20:15~20:22 機 材: FUJIFILM X-T1/XF18-55mmF2.8-4 (f=55 F=4.0) ISO: 2500 露出: 1/6秒

ISO: 2500 露出: 1/6; 固定撮影 比較明合成 撮影 地:大分県大分市牧付近



20180716 FB 友の会より

奈須 栄一

同じ流星です。長い流星でした・・・。





20180716配信 No4471

M8& バンビ

村上 聡

7/14は久住滑空場へ撮影に出かけました。到着時は雲が多く駄目かと思っていましたが、夜半から快晴となり綺麗な天の川を見ることができました。



2018.7.14 22:45 ~ Nikon D810A FS-60CB Reducer C0.72X f=255mm F4.3 ISO3200 180s x 24 Flat/DARK Cellestron AdvancedVX SynGuider II 大分県竹田市及牛町

20180716配信 No4473

白昼の細月と金星の接近

藤吉 健児

連休に晴れ間が続くなんて、めったにないですね。 睡眠不足になるし、夜の活動も少しはセーブしながら・・・と思ったら屋間にも天文イベントがあるんですもんねぇ。屋ごろならもうちょっと接近していたと思いますがちょっと出遅れました。本日屋間の月と金星の接近です。

20180716配信 No4474

7/15の三惑星と流星

丸野 閑由

猛暑が続いています。おかげで晴天には恵まれています。お互い高齢になりつつありますので体調管理に気をつけましょう。4月より時間に追われる毎日でしたが、連体を使い惑星をベランダから撮影してみました。ハイレベルな皆さんのうまくはないのでなかなか出しづらいのですが久々の惑星画像思い切って出します。

7月15日の木星土星火星です。

また、7月14日 午前1時頃火星と流星が撮れました。





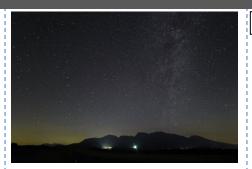
20180716 FB 友の会より

吉野 圭司

村上さんの写真に触発されて、無性に天の川が見たくなり車を飛ばし久住に行ってきました。 低空はガスの影響がありますが、満天の星空を満喫できました。ガイドなしの固定撮影です。







20180717 FB 友の会より

7/16の流星 奈須 栄一

昨夜は、昨日の内に3個の流星でした。







20180716FB 友の会より

吉野 圭司

今夜の月と金星 西の空に月と金星が並んで輝いていました。



20180717配信 No4475

7/14末明の土星 藤吉 健児

7/12(木)の夜は曇りましたが、7/13(金)はまたしても快晴、惑星たちの瞬きが少ないので、土星を撮ってみました。この次に撮った火星は処理がスムースに進んだので既に報告済みですが、土星はなかなかうまく処理できず、遅くなってしまいました。暗いからか撮影方法の問題なのか、スタックそのものがうまくいかないんですよね。APの配置に苦戦しました。

WinJuposのDerotationは、ソフト上カッシーニの 間隙の位置などが表示されるのでさほど苦労せずに できますが。とにかく土星は難しいです。



2018.07/14 00:13:30 自宅庭より Celestron Edge HD800 + Celestron 3x Barlow ZWO ADC + ZWO ASI290MC Takahashi EM100 + PoleMaster FireCapture V2.6beta FL=6850mm CMI=272.9° CMIII=112.6° Gain:500 Gamma:40 Shutter:9.6ms Duration=90s Frames Captured:9370×4 00:10:34~00:18:16 6セットDerotation ASI3(AP14*21 50%) RS6 WinJupos SI7 CS2

7/14宵の木星 藤吉 健児

ここのところ落ち着いた気流状態で惑星がよく撮れます。火星は我ながら驚きの画像でしたが、そうなるとあまりびしっとした画像が撮れていない木星を撮りたいもの。割と早い時刻に撮影好機を迎えるようになってますのでなかなか仕事の後では撮影できずやきもきしていました。さすがに土曜日は早めに帰宅できるので、やっと撮影できました。大赤斑のある木星としては自分史上最高の画質かな??と思います。ようやく木星が目を合わせてくれたか!ないます。ようはいます。まだ、DeRotationで木星の縁に白い線が入ってしまったりしているのでいずれ処理をやり直すか・・・とは思っています。



2018.07/14 20:57:30 自宅庭より Celestron Edge HD800+Celestron 3xBarlow ZWO ADC+ZWO ASI290MC EM100(PoleMaster省いちゃった・・) FireCaptureV2.6beta FL7250mm CMI=139.5° CMII=300.8° CMIII=183.3° (20:58:00) Duration=90s Frames captured=2645×8 Shutter=9,000ms Gain=400 (66%) Gamma=41 20:51:08~21:04:59 8セットDerotation ASI3(AP30 50%) RS6 WinJupos PSCS2

20180718配信 No4480

7/16の土星

梶原 達夫

連日好天に恵まれてます、体調は如何でしょうか? これぐれも無理をなさらぬように!!こちら日田で も相変わらず猛暑の毎日、幸い我が家は田舎で標高 が高いせいか市中心部に比べ2~3度ほど気温が低い ので助かっています。

16日に撮影した土星画像をお送りします、この日は以前撮影した日に比べるとシーイングは一番良かったです。ただADCの調整がうまくいかず色ずれがります、再調整要!ですね数ショット撮影したので自転補正もやってみたいのですが、今学習中で今後の課題です。



Duration 90s Sutter 20.00ms Gain400 Fps49 Frames Captured 4499

7/16の火星 梶原 達夫

火星の画像処理も出来たのでお送りいたします。 極冠辺りはこんな色かい?と思ってしまいます、 多分ADCの調整がうまくいかなかったのだと思いま す。



FireCapture v2.6 Settings

Camera=ZWO ASI385MC Filter=IR Profile=Mars
Diameter=23,38 " Magnitude=-2,60
CM=20,5" (during mid of capture)
FocalLength=8050mm Resolution=0,10"
Date=160718

Start-233511.761 Mid-233611.766 End-233711.772
StartUDI-143511.761 MidUDI-143611.766 End/UDI-143711.772
Duration-120.0115 Frames captured-17094
File type-AVI Extended AVI mode-true
Compressed AVI-false Binning-no
ROI=608x502 ROIIOffset)-544x4448
FPS (avg)-142 Shutter-4.000ms Gain-300

20180718配信 No4481

M17 オメガ星雲 いて座 安元 治義



20cm反射 F 5直焦点 KISSX5 (IR改) LPR-N Light60sec x 27 Dark x 10 Flat x 10 河内天体観測小屋(自宅)大分県豊後高田市

-19-

20180718配信 No4482

月の名所シリーズ⑥ 安元 治義

ここはどこでしょう 7月17日の月から



20cm反射 F 5 直焦点 ASI290MC IR76 3xバロー 6コマモザイク

月の名所シリーズ⑦ 安元 治義

7月17日の月から危機の海と豊かの海

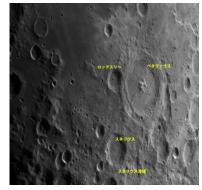


月の名所シリーズ⑥の答えは・・・

ここ ここで~~す



ベタヴィウス スネリウス付近でした

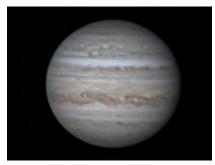


20180719配信 No4483

昨夜(7/18)の木星・土星 川端 孝幸

昨夜の木星

モヤというかPMなのか、晴れてるのにここ数日霞んで撮れませんでした。ようやく何とかゲットです。 とりあえずラフ処理の木星です(^^;)



昨夜の土星 白斑も長くなってきました。こちらもとりあえずラ フ処理。シーイング4/10、透明度2/5



2018-07-18 23h30m28s (JST) C14+2×/1-0-+|Rcut+ADC+AS|224MC

20180719配信 No4484

7月15-16日夜撮影の木星土星火星 (Winjuposを使わない処理)

渕 辰夫

今回は、比較的気流が良い方だったので、Winjuposを使わない処理です。Winjuposは、合成する画像一枚毎に日付時刻の手入力が必要です。これが一番大変で、自動で入ると良いのですが~。木星は、もっと早い時間帯に撮影すると気流がさらに良い可能性が有りますが、夕食後すぐに望遠鏡をセットアップしてもこの時間です。日中の日照りで未だ庭のコンクリートの地面がガンガン熱いですが、なぜか気流は良い。



火星データ: 2018年7月16日00時15分~ 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc 赤外カットフィルター シャッター5ms 240s×1 autostakkert Registax



木星データ: 2018年7月15日20時50分~ 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc シャッター10ms 90s×1 autostakkert Registax



土星データ: 2018年7月15日22時04分~ 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc シャッター40ms 120s×1

20180719配信 No4485

牧ノ戸で見た天の川と流星 藤吉 健児

せっかく牧ノ戸に行ったので、広い高原の上に天の川を撮ろう、とピーコック撮影中にすぐ横で天の川のタイムラブスも撮影してみました。その時に見た流星の静止画です。なお、タイムラブスはYOUTUBEで公開していますが、撮影中に、ご来光登山に来たという八女からのおじさま方に、星空の説をしている声は残念ながら記録されていません



流星 2018.07/16 01:57JST Kenko Pro SoftonA(W) Tamron 10-24mmF.5-4.5(10mmF3.5) Canon EOS Kiss X7i(Ir) ISO6400 20秒 牧ノ戸峠下展望台

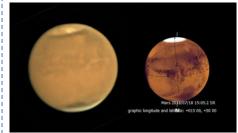


YOUTUBE リンク https://youtu.be/2eeZkgJEnDs

20180719配信 No4486

昨夜 (7/19) の火星 川端 孝幸

何とかうっすら模様がみえてます。 サバ人の湾、マリネリス渓谷なども見てとれます。 ストーム終息祈願(^^;)



シーイング4/10、透明度2/5 2018-07-19 OOh31m22s (JST) C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180720配信 No4488

2018.07.19 ISS上空通過 山本 幸司

7/19夕刻、大分市上空を通過するISS(国際宇宙ステーション)を観測できました。 直前まで雲がわいていて心配しましたが通過時にはちょうど晴れて良かったです! 自宅前の本が読めるように明るい公園ですが、何とか街灯を少しでも避けて撮影ができて良かったです!・(笑)



短いですが、タイムラプス動画も良かったらご覧く ださい。



「2018,07,19ISS通過観測(大分市)」 https://youtu.be/OhYOotmDnsM

20180720配信 No4489

M27 足立 紀彦

久しぶりに投稿します。7月16日撮影したM27の LRGB合成写真。SBIG-ST8300で始め、 ASI1600MM-Coolに至るまで4度目のチャレンジでやっと合成まで漕ぎつけました(汗!!) 色情報のRGBは、1x1 binningで撮影しました。



Telescope=Mewlon250CRS+0.73^{PD} (D=25cm,FL=1825mm)
Mount=EQ8
Auto Guide=PHD2 Guide(FC76+ASI120MM-S)
Camera=ZWO ASI1600MM-Cool(フォーサーズ・サイズ)
Filter=L及びR、G、B各フィルター
Date=160718
Start=213348.212
Frames captured=L x 30, RGB x 10
File type=FIT
Binning=no

20180720配信 No4490

Sensor temperature=-15.2 $^{\circ}$ C

Shutter=120.0s

Gain=220 (36%) Gamma=50

NGC7000 北アメリカ星雲 足立 紀彦

久しぶりにFSQ106を使って撮影してみました。 とりあえずのお試しに天頂付近のNGC7000を。 これまでペリカン星雲と並べて横アングルで写して いましたが、今回は北アメリカをトンと真ん中にと 思い、縦アングルにしました。ところがアングルが 下がりすぎました。この星雲にはアラスカあたりは 無いんでしたね。ガイドカメラがQHY5-Lだった ので、初めてステラショットのAutoGuideモードを 使いました。PHD2に比べるとキャリブレーション に長く時間がかかりましたが、正確に追尾はするよ うです。



撮影日時--7月15日02:24~ 撮影機材--FSQ106kai(D=106mm,FL=530mm) + NikonD810A 露出--ISO3200 180s x 35exp(Total Exp=115min) 架台=-EQ6 pro + Autiguide(StellaShot) 処理=-DSS、PhotoShopCC2017

20180721配信 No4491

気流の良い7月16日夜撮影の

渕 辰夫

火星木星土星

最近は連日晴れていますので、パソコンのハード ディスクが満杯になり、仕事の合間にやっているの で処理も追いついていませんし、追加の撮影もス トップしています。7月16日は前日に続き気流条件が良く、バローレンズの距離を調整して、拡大率を 1.2倍程度アップしました。赤道儀がGPDなので、 撮像範囲を狭くするとやりにくいです。木星は視直 径がだいぶ小さくなったのですが、良気流で救われ



火星デ-2018年7月16日23時25分~ 25cmF4 5倍バロー adc asi224mc 赤外カットフィ ルター シャッター4ms 240s×1

autostakkert Registax



2018年7月16日20時59分センター 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc シャッター10ms 90s×5 autostakkert Registax Winjupos



2018年7月16日21時24分~ 25cmF4 5倍バロー adc asi224mc シャッター40ms 120s×1

20180722配信 No4494

7月17-18日夜撮影の木星と火星

渕 辰夫

今回は、惑星の自転がわかるように、少し時間の違う2枚セットです。(何かの説明に使えますか?) 前日より気流は悪い傾向ですが、年間通して見ると 良い方です。木星は、たまたま近くに衛星ガニメデ が有りましたので、衛星の移動もわかります。





2018年7月17日23時57分~ 2018年7月18日01時20分~ 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc 赤外カットフィルター シャッター4ms 240s×1 autostakkert Registax





木星データ: 2018年7月17日20時56分~ 2018年7月17日21時27分~ 25cmF4 5倍バロー adc asi224mc シャッター10ms 90s×1 autostakkert Registax

20180723配信 No4496

7/18の三惑星 丸野 閑由

7月18日の3惑星画像を添付しています。画像処 理がうまくいかずどうもピンボケのような感じです。 皆さんのようなシャープな画像にならないのはどう してなんでしょうか。惑星は難しい・・



20180726配信 No4502

昨夜(7/25)の月と土星の接近 火星付き

藤吉 健児

昨夜は土星と月が接近して見られました。月火土の 接近はもうちょっと続きますね。拡大撮影系はこの 天候ではのぞむべくもありませんが、雲があっても 見る分には楽しい接近系です。



Canon EFS24mmF2.8 Canon EOS 70D 2018.07/25 自宅2階ベランダより

2018,07,25 月と土星の接近 山本 幸司

薄雲の掛かる大分市ですが、月とそのすぐ西(右) に土星が接近して見えてますよ!明るさの差の大き な月と土星、露出を変えた2枚を合成しています。 合成する時に加算平均ですと寝ぼけた感じになるの で、差の絶対値合成で月を反転させ目だたせていま す。月の実際の視直径と画像の光の大きさの差がよ くわかりますね!



撮影日時: 2018年07月25日 20:40 材:FUJIFILM X-T1/XF18-55mmF2.8-4 機

(f=55 F=4.0)

ISO:800 露出:1/4000秒/2.5秒

固定撮影 差の絶対値合成 撮影 地:大分県大分市牧付近

20180725配信 No4499

インフォメーションを配信するにあたり、同じ対象天体の投稿が同じころに届いた場合、配信号は分けることが多いですが、今号は、あえて渕さんの火星と藤吉さんの火星を同じ号で配信させていただきます。

25cmと20cmと口径も近いので機材の差も大きくないと思います。また、撮影・画像処理などの技術も、日ごろの両氏の観測報告からお二人のすばらしさは皆さんご周知のことです。撮影時刻は30位をですからほぼ同時刻。差は、気流ですよね!!!!

■ あえて、気流良くない時の画像を送ってくれた藤 吉さん、こんな風に比較してしまい済みませんが、 気流の差の良き見本かと!!!お許しください。

事務局

т

т

т

П

П

ı

П

7月24-25日夜撮影の木星と火星 渕 辰夫

火星の砂嵐は、少しずつおさまって来ているのでしょうか、下地が見えています。 やはり火星の時間帯は気流が悪いです。草木の上の位置は特に悪いようです。 夕方、一瞬ですが気流の良い20分程度の時間帯があり、この現像を利用して、だんだん小さくなって行く木星を撮影しました。





火星データ:
2018年7月25日00時17分センター
240s×7
2018年7月25日01時05分センター240s×4
25cmF4 5倍パロー adc asi224mc
シャッター4ms
autostakkert Registax Winjupos



木星データ: 2018年7月24日20時51分~ 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc シャッター10ms 90s×1 autostakkert Registax

地球の大気状態のよくないときの火星 藤吉 健児

暑いですね!!! 夜が更けてからもこの暑さでは、星空の下に(庭に)出る気も失せます(^^ゞ まして、ここのところの、星座の形さえ分からないほど白く濁った空、望遠鏡で見るまでもない肉眼で見てもわかるほどのひどいシンチレーションが、こんな空の下でよくみなさんここまでの画像を撮影できるものだと感嘆の極みです。昨夜は透明度が少し回復した印象だったので庭に出てみました。シンチレーションは肉眼で見てもわかるほどひどい状態は変わらず。7/13前後の奇跡の大気状態と比べると、透明度も星の揺らぎも、その差は一目瞭然です。せっかくなので撮ってみましたが、やっぱりこんなものです。今大気の状態は良くないんだ、という記録の意味でご報告です。



Edge HD800+3×Barlow+ADC+ASI290MC 2018.07/24 23:42.5 90秒×7FrDerotation 自宅庭より

(細かい設定書いても参考になりませんよね (TAT)

20180725配信 No4500

昨晩(7/24)の2惑星

梶原 達夫

毎日暑いですね!!お変わりありませんか?くれぐれも夜遊び?が過ぎませぬように。

昨晩撮影の2惑星画像をお送りします、まあまあの 気流でしたので、最初に木星にも挑戦してみたので すが、とても難しく撤退しました。

質問ですが、惑星の向きはどの資料を参考にしたら 良いでしょうか。撮影するとき構図で迷ってしまい ます。ステラナビゲーターでその時間の撮影惑星を 拡大してみる?(南極冠下向き)天文ガイドMars Calender(望遠鏡で見た姿、南極冠上向き)お好 みで・・と言われそうですがどうしたものでしょう か?協会員の方々のご意見も伺えたらと思っていま す。出来れば土星、木星も。





20180726配信 No4501

「 質問!!!! 」への返答 山本 幸司

くわしくはないですが、調べてみたら下記①② が見つかりましたので、参考になれば幸いです。 ①月惑星研究会

http://alpo-j.asahikawa-med.ac.jp/ 惑星画像は、惑星の南極を上に合わせる。

水星、金星は欠けた方向が赤道だと仮定して南極を上にする。欠けていないときやリング状の場合は 赤経赤緯方向の南極を上に。

木星、土星は南極を上にする。

火星は下記を参考にしてください。 火星の南極を上に合わせる方法

観測報告とは、自分以外の研究者、分析者に役立てていただきたいという目的を持って報告されるものです。傾いたままや、どちらが南極かわからない画像では研究者、分析者が使えません。 火星は撮影時に赤経方向にあわせて撮影し、報告時には火星の声を上に合わせるように画像回転させてください。これが技術的にできない場合は、日周運動方向を正確に示してください。

表示方法例 P←F

わからない場合(天王星など)は赤経赤緯方向の南極を上にするか、できない場合は不明としてください

2Starry Urban Sky

https://urbansky.sakura.ne.jp/direction.html

月や惑星の撮影の場合、まず天体の自転軸を垂直にするのが大原則です。その上で、天体の「北」または「南」を上にします。どちらを上にするかは人や雑誌によって異なりますが、月の場合は「北」を上に、惑星の場合は「南」を上にするのが違和感が少ないのではないかと思います。

文字で書くと分かりづらいですが、月は肉眼でも見えるので違和感を感じないように正立像で、惑星は望遠鏡で見たままの倒立像で、ということです。 もっとも惑星に関して言えば、南を上にするのは眼視でスケッチを行っていたころの名残りといえる部分があり、写真の回転が容易な現在では、北を上にする例も増えてきています。

20180726配信 No4502

「 質問!!!! 」への返答・2

藤吉 健児

梶原さんの質問に関する僕の個人的見解。

最近は基本的に北を上にすることが多くなっているようですが、どうしても接眼レンズをのぞきこんだときに画像と見た目が一致しません。なので僕は倒立像で画像を出力しています。画像のイメージ通りに接眼レンズ内で見ることができますので。南北の合わせ方は、ツールを持っていませんのでステラナビゲーターの画像を拡大して南北を見ているのみです。土星や木星のように縞模様がはっきりしていると楽ですが。月面は撮影時に南北に並んでいるクレーターや東西に並んでいるクレーターを目

印に合わせてから撮影に移りますが、少々(とは言わずかなり?)ずれます。

1

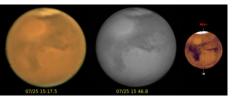
(追伸) 以前同じようなことを質問し、大分天文協会的には、 北を上にしましょう、と決めたような、でももしか したら南を上にしよう、だったかも、とあやふやな 記憶です。こういうことは、会誌にまとめていたら 探すのが楽だったかも、と後悔先に立たすです(^^ゞ

藤吉さんからも返答いただきました。ありがとう ございます。世界の流れは北が上かもしれません が見た目・長年の習慣ですと南を上にしたいのも よくわかりますね!山本もその方がしっくりきま す。さて、他の方も返答よろしくおねがいしま す!!! 事務局

20180726配信 No4503

昨夜(7/26)の火星 川端 孝幸

薄雲に覆われて月も火星のように赤く染まってました。透明度の低さから、シーイングは比較的良かったのですが、解像度はあまり得られませんでした。記録としては何とか撮影ができました(^^;)



シーイング3/10、透明度1/5 2018-07-26 00h17m32s (IRcut)、00h46m48s (IRpass 760nm) (JST) C14+2×パーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180728配信 No4507

7月27ー28日夜撮影の火星(立体写真) 渕 辰夫 と木星

夏場特有のどんよりとした薄曇りで、雲を通して撮影したので、光量は50%以下でフラついていました。写真に大シルチスとヘラス盆地(円形に明るく輝いている)が写っていますが、眼視では南極の一部分を除き、砂嵐のツルツル状態に近いです。前回より模様が淡くなったようです。

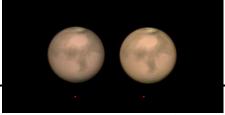
今回は、火星の自転を利用して、この2枚で立体写真にしました。

~時間差がありすぎのようですが。



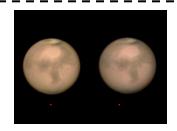


火星データ:
2018年7月27日23時20分センター 240s×5
2018年7月27日23時45分センター 240s×6
25cmF4 5倍パロー adc asi224mc
シャッター5ms 240s×1
autostakkert Registax Winjupos



編集部(注) 添付の画像は平行法です。遠くを見る目で、二つの赤い点が真ん中で一つに重なるようにすると見えます。ただし二つの火星像が自分の目の幅以上に離れると立体視できませんので、あまり拡大しない方が見えます。

慣れない方は交差法(寄り目で見る)の方が見やすいこともありますので、交差法の画像を下に追加させていただきました





木星データ: 2018年7月27日20時47分センター 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc シャッター10ms 90s×5 autostakkert Registax Winjupos

20180728配信 No4509

旅する月

藤吉 健児

土星と火星の間を移動していった月ですが、3日間とも撮影可能とは思っていませんでした(^^ゞ月の移動の様子を3枚組写真で。



2018.07/26.27.28の未明に撮影した3枚です Canon EOS70D((r) Canon EF-S 24mm F2.5

20180729配信 No4513

7月25日の火星 小田 孝明

FireCaputureの16ビットにチェックを入れて 動画ファイルをSERで撮影してみました。 シーイングは2/5程度で良くありませんでした。



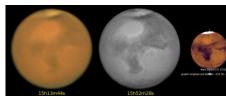
TSA120+1.5×extender+5×パロー+ADC+IRカットフィルター Camera=ZWO ASI290MC Profile=Mars Date=250718 Start=230342.975 Mid=230455.591 End=230608.208 Duration=145.233s Frames captured=10000 (ASI3で40%スタック) File type=SER ROI=800x800 Shutter=9.000ms Gain=360 (60%) Gamma=50

20180729配信 No4514

昨夜(7/28)の火星

川端 孝幸

ここ数日、猛暑と高湿度の為に晴れてるのにガスがかかったような天候です。晴れたかなと思うと一気に曇るというパターンを一晩に数回繰り返します。今回2時くらいまでは頑張ってましたが、全面曇りとなり継続断念。もしかして晴れたかも(^^)。朦朧として体力の方がもちませんでした(:∀;)



シーイング2~3/10、透明度2/5 2018-07-28 OOh13m44s (IRcut)、00h52m28s (IRpass 760nm) (JST) C14+2×バーロー+ADC+ASI224MC

分外

20180729配信 No4515

月の名所シリーズ⑨⑩ 安元 治義

塾長よりお褒めのお言葉頂き 月面広域図にしてみました。解かる範囲で代表的な地形を

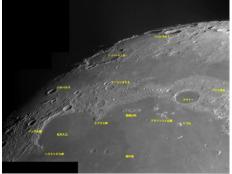
月の名所シリーズ⑨ ガッサンディ付近





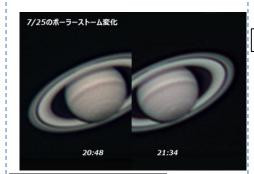
月の名所シリーズ⑩





20180729配信 No4516

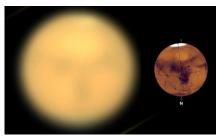
皆既月食で盛り上がっているようですが7/25の土星です。ポーラーストームが発生していたようで、約50分の違いでその差は明らかです。しかも、最初は2つあったものが1つに合体しているような様子に見えます。ポーラーストームに興味はありませんが、低解像度でもここまではっきりと写ったので報告らしきことをしておきます。今回土星の自転周期が10時間と短いことを知りました。そうです、長年やっても何も知らない人なんです。



20180801配信 No4522

大接近の火星 川端 孝幸

熊本市内からは早い時間帯に顔を出していたもののすぐに雲に覆われ、再び現れたのは夜半過ぎでした。 台風一過の抜群の透明度でしたが、シーイングは最低。大シルチスやヘラス盆地がようやく判別できる 程度でした。とりあえず記録として掲載します(^^)



シーイング1/10、透明度4/5 2018-08-01 02h14m16s (JST) C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

2018.07.31火星最接近!! · (笑) 山本 幸司

火星最接近の7/31に生の火星をどうしても見たいというお気楽夫婦です。SCWの予報を頼りに大分市より北に向かって移動しました。日出町の海岸付近で雲の隙間に月が出てきたので、先日FB友人が月食観測していた日出シーガーデンに向かいました。到着すると僅かな雲の隙間から火星もちらほら!!!慌ててドブソニアンを下ろして設営、観測準備完了迄、数分・流石の機動性!!念願通り、大接近の日の火星を見る事が出来ました!時刻は23:31ぎりぎりセーフ!・(笑)その火星も見えていたのは僅か1分余り・・・観測する事も画像を振る事も出来ませんでしたが辛うじて記念写真が1枚!!!・(笑)



20180801配信 No4523

大接近の火星・3

渕 辰夫

昨夜(7/31)撮影の火星です。火星接近では、撮影する機会が少ないので、今回は昨夜雲の切れ間を利用して撮影しました。急速に雲が湧く天候で、途切れ途切れの動画しか得られず、そのうち、直ぐに雨が降り出して、急いで望遠鏡を撤収しました。凶悪気流もあり、やはり眼視では表面の模様は確認しづらいです。



2018年7月31日23時46分~ 25cmF4 5倍パロー adc asi224mc シャッター5ms 240s×1 autostakkert Registax

20180801配信 No4524

大接近の火星・4

安元 治義

上がったばかりの火星 そして厚い雲の中へ 金平糖状態 (AS2入力時も) 凄ー円くなって出てき た。ピントも合わせられなくて土星で合わせました



20cm反射F5直焦点 ASI290MC 3xバロー河内天体観測i小屋(自宅)大分県豊後高田市



大分天文協会

Astronomical Society of Oita